



2026年5月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ク ノ ロ ジ ー ズ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 良 原 広 樹
(コード番号：5248 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 宮 内 駿
TEL. 03-6432-7524

環境省「令和7年度データセンターにおける再エネ利用促進事業／優良事例集」 への優良事例選定および事例集掲載に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社エコ革（以下、「エコ革」）は、福島県大熊町において推進している再生可能エネルギー活用型データセンター事業について、環境省が実施する「令和7年度データセンターにおける再エネ利用促進事業」において、優良事例の一つに選定され、本日公表された「データセンターによる再エネ利活用優良事例集」に掲載されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 掲載の概要

環境省では、脱炭素社会の実現に向け、膨大な電力を消費するデータセンターの再エネ利用を促進しています。本事例集では、エコ革の取組が「再生可能エネルギー基盤の分散展開型コンテナデータセンター先導モデル」として紹介されています。

本モデルは、コンテナ型データセンターと太陽光発電設備を組み合わせることで、GPU活用等に伴う大規模電力需要の一部を再エネで自給し、系統負荷の低減と運用コスト抑制を同時に図る先導的な試みとして整理されています。

(関連リンク)

- ・環境省：データセンターのゼロエミッション化・地域共生加速化事業

URL：<https://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/data-center.html>

- ・環境省：データセンターによる再エネ利活用優良事例集

URL：<https://www.env.go.jp/content/000400242.pdf>

2 掲載された取組の内容

本事例集では、主に以下の内容が紹介されています。

(1) 再生可能エネルギーの自家消費による系統負荷の低減

本事業では、太陽光発電設備を併設し、データセンターの消費電力の一部を敷地内の再生可能エネルギーにより賄う計画です。消費電力の11.59%を敷地内太陽光発電により自給すること、また、再生可能エネルギー発電設備および省エネルギー設備の活用により、通年で1,219トンのCO2排出削減を見込むことが記載されています。

(2) コンテナ型データセンターによる柔軟かつ迅速な展開

大規模データセンターでは、大容量の電力需要に対応するため、系統電源の確保や関連設備の検討に一定の期間を要する場合があります。

本事業では、コンテナ型データセンターを採用することにより、立地選定の自由度を確保し、系統余力のある地点への迅速な整備展開を可能とするモデルとして整理されています。

(3) 再エネ活用と IT インフラ運用を組み合わせた事業体制

エコ革は、太陽光発電設備の開発・設計・施工・運用に関する知見を有しており、再生可能エネルギーを活用した電力最適化と、データセンター設備の運用管理を組み合わせた事業体制の整備を進めております。

以上のとおり、本事業では、太陽光発電設備の活用、コンテナ型データセンターの採用、再エネ分野で培った知見を組み合わせることで、再生可能エネルギーの活用と安定的なデータセンター運用の両立を図ってまいります。

【図：福島県大熊町におけるデータセンター完成イメージ】



※上図は現時点における完成イメージであり、実際の仕様・外観等は今後変更となる可能性があります。

3 環境省施策および社会的背景との親和性

環境省は、2050年カーボンニュートラル達成に向け、再エネを活用するゼロエミッション・データセンターの重要性を示しています。また、地方分散立地の推進は、災害時のレジリエンス強化やデジタル社会の基盤整備に資するものです。

エコ革は、太陽光発電設備の開発・設計・施工・運用における知見を活かし、AI・GPU時代に対応した持続可能なデジタルインフラの提供を通じて、GX（グリーン・トランスフォーメーション）推進に貢献してまいります。

4 今後の見通し

本件は、当社の連結子会社であるエコ革が推進するデータセンター事業の取組が、環境省が公表する事例集に掲載されたものであり、本件が当社連結業績に与える具体的な影響は、現時点では軽微であると見込んでおります。

一方で、本事業のモデル化および今後の展開は、AI・GPU時代におけるデジタルインフラ需要の増加と、再生可能エネルギーの活用による脱炭素化の両立に資するものであり、中長期的な企業価値向上に寄与するものと考えております。

今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上